

## PRIMERGY RX2530/2540 M6 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX2530/2540 M6 に関して、留意・注意事項およびマニュアル類の内容に訂正事項がございます。  
製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

本文中の OS 名称は、次のように略して表記します。

OS 名	略称	
Windows Server ® 2019	Windows2019	Windows
Windows Server ® 2016	Windows2016	Windows
Red Hat Enterprise Linux® 8.2	RHEL8.2	RHEL
Red Hat Enterprise Linux® 8.3	RHEL8.3	RHEL
Red Hat Enterprise Linux® 7.9	RHEL7.9	RHEL
SUSE® Linux Enterprise Server 15 Service Pack 2	SLES15SP2	SLES
VMware vSphere® ESXi 7.0 Update2	VMWare 7	VMWare
VMware vSphere® ESXi 6.7 Update3 Patch04	VMWare 6.7	VMWare

### 【制限事項】

RX2530/RX2540 の記載がない場合には、両装置に対する制限事項となります。

#### 1. 【修正済】SGX 機能について

※ BIOS R1.9.0 で修正されました。

本装置では、対応アプリケーションに保護されたメモリ領域を提供する SGX(SW Guard Extensions)の機能はご使用できません。

#### 2. 【修正済】BIOS のアップデート方法について

※ BIOS R1.9.0 で修正されました。

以下の方法で BIOS のアップデートを行った場合、装置に標準搭載された SD card に BIOS が保存されません。

- USB(EFI Flash を使用したアップデート)
- オンラインアップデート(ASP モジュールを使用したアップデート)

SD card に BIOS が保存されていない場合、System Board の保守交換時にご使用されていた BIOS に自動的に版数を合わせる機能をご使用できません。その場合、保守交換後の System Board は元々稼働していた版数とは異なる版数の BIOS となっていますので、お客様にて元の版数を適用していただく必要があります。System Board の保守交換時に BIOS の自動版数合わせ機能を利用する場合には、BIOS のアップデート時に iRMC WebUI からのアップデートをご使用ください。

### 3. 【修正済】PCIe 10-bit Tag 機能について

※ BIOS R1.7.0 で修正されました。

本装置では、PCI Express パケット内のタグフィールドの bit 幅を指定する PCIe 10-bit Tag の機能はご使用できません。

### 4. 【修正済】BIOS のパスワード認証について

※ BIOS R1.7.0 で修正されました。

BIOS メニューの "Skip Password on WOL" を有効にすると、装置の電源ボタンや iRMC WebUI から起動させた場合にも BIOS のパスワード認証をスキップします。

BIOS のパスワード設定を行う場合には、“Skip Password on WOL” を有効にしないでください。

### 5. 【修正済】iRMC の LAN 設定について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

iRMC の LAN 設定が iRMC の再起動により変更前の値に戻る場合があります。

LAN 設定が変更前の値に戻った場合には、サーバ本体にモニタとキーボードを接続し、BIOS セットアップメニューもしくは ServerView Agent から再度 iRMC の LAN 設定を行ってください。

(ServerView Agent の System Configuration を使った復旧方法)

・Windows の場合

スタートメニューから System Configuration を起動し、iRMC LAN Interface メニューから iRMC の LAN を再設定してください。

・Linux の場合

Ipmitool で設定してください。(下記は設定例です)

```
# ipmitool lan set 2 ipaddr 10.20.30.40
```

```
# ipmitool lan set 2 netmask 255.255.255.0
```

```
# ipmitool lan set 2 defgw ipaddr 10.20.30.1
```

### 6. 【修正済】ASP モジュールを使用した BIOS/option カードのドライバのアップデートについて

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

BIOS パスワードが有効の場合に、ASP モジュールを使用した BIOS やドライバのアップデートが失敗します。ASP モジュールを使用した BIOS やドライバのアップデートを行う場合には BIOS Password を無効にして実行してください。

BIOS Password を無効にするには、BIOS Setup メニューに入り、Security メニューに移動して Administrator Password と User Password を削除してください。

パスワードを削除するには空白のパスワードを設定してください。

## 7. 【修正済】iRMC WebUI 上での Boot Option 設定変更について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

iRMC WebUI 上で Boot option 設定を変更し、サーバ本体の電源ボタン押下による電源 ON を行くと、Boot Option 設定が反映されません。iRMC WebUI から Boot Option 設定した場合は、iRMC WebUI から Power On してください。

## 8. 【修正済】PCIe SERR 発生時の SNMP トラップについて

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

PCIe SERR 発生時に SNMP トラップが発行されません。PCIe SERR 発生の有無は、iRMC SEL/Mail 通報もしくは iRMC の Syslog 通知機能で確認してください。

## 9. 【修正済】BIOS の Boot Order に表示される iRMC の Virtual Media デバイスについて

※ iRMC FW 3.24P で修正されました。

iRMC の Virtual Media で何も接続していないにも関わらず、BIOS の Boot Order に iRMC の Virtual media デバイスが表示されます。iRMC の Virtual Media で何も接続していないときに BIOS の Boot Order に表示される iRMC の Virtual media デバイスは無視してください。

## 10. 【修正済】RAID を構成する HDD が応答不可の状態のときの CSS LED の状態について

※ iRMC FW 3.24P で修正されました。

RAID を構成している HDD を抜いたときや HDD が応答不可の場合に CSS LED が点滅します。

本来の仕様では、このような場合には CSS LED が点灯となります。

LED が点滅したときは、iRMC WebUI の SEL から HDD の状態を確認し、記録された内容に沿って対処を行ってください。

## 11. 【修正済】Power Policy: Always On について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

Power policy を Always On に設定しているにもかかわらず、AC-Off/On 後に自動で Power On しない場合があります。自動で Power On しない場合は、iRMC WebUI/WOL/電源ボタンで Power On してください。

## 12. 【修正済】HTML5 AVR で使用するブラウザについて

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

ブラウザに Chrome や Edge を使用し、HTML5 AVR を起動していると突然ウィンドウが閉じる場合があります。IE や FireFox 等のブラウザ上で HTML5 AVR をご使用ください。

### 13. 【修正済】Java AVR での Boot モード設定について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

Java AVR のメニューにある”ブートオプションを設定”機能は設定できません。次回起動時の動作を指定する場合は iRMC WebUI 上で設定してください。

### 14. 【修正済】eLCM ライセンスが有効の場合の SD card の Internal Storage 画面表示について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

eLCM ライセンスが有効かつ、ブラウザとして IE を使用して iRMC WebUI を起動した場合、SD card の Internal Storage 画面が表示されません。eLCM ライセンスが有効の場合には、iRMC WebUI を起動するブラウザは Chrome、Edge、FireFox を使ってください。eLCM ライセンスが無効の場合にはブラウザが IE でも同問題は発生しません。

### 15. 【修正済】RestfulAPI での BIOS 設定の取得について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

Enable Automatic BIOS Parameter Backup が無効の場合に、RestfulAPI で BIOS 設定を取得できません。RestfulAPI で BIOS 設定を取得する場合は、iRMC WebUI で Enable Automatic BIOS Parameter Backup を有効に設定し、有効後に一度システムの再起動を実施してください。

Enable Automatic BIOS Parameter Backup を有効にした場合、電源オン後の POST 時間が 2～3 秒長くなります。

## 16. 【修正済】iRMC LAN の Bonding 機能について

※ iRMC FW 3.37P で修正されました。

iRMC LAN の Bonding 使用時に Bonding が動作せず、LAN ケーブルが抜けた際に別の LAN ポートに切り替わりません。Bonding 使用時に iRMC への接続が切れた場合は LAN ケーブルの接続を確認してください。

※ 本制限は、FW 適用後、Bonding 設定を以下の手順で実施ください。

以下手順を実施しないと LAN ケーブルが抜けた際に別の LAN ポートに切り替わりません。

- ・iRMC WebUI にログインし、「設定」→「ネットワーク制御」→「ネットワークインターフェース」→「ネットワークポート」設定において「共用 LAN」を選択後、「適用」を選択し共用 LAN を有効にします。
- ・共用 LAN ポートのリンクアップ(LED 点灯)を確認し、かつ共用 LAN ポートで通信可能か確認します。
- ・「ネットワークポート」設定において「マネージメント LAN」を選択後、「適用」を選択しマネージメント LAN を再度有効にします。
- ・「ネットワークポート」において、「Bonding を有効にする」にチェックを入れ、「適用」を選択し Bonding を有効にします。

また、上記手順を実施すると、「設定」→「ネットワーク制御」→「DNS 名の登録」→「DNS 名の登録」の設定が、「なし」に変更されます。再度「DNS 名の登録」を設定してください。

## 17. 【修正済】VNC AVR 使用時の解像度について

※ iRMC FW 3.37P で修正されました。

VNC AVR 使用時に解像度が 1680x1050 であると、VNC AVR 画面に何も表示されません。

1680x1050 以外の解像度に設定してください。

## 18. 【修正済】iRMC のユーザとパスワードの変更について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

RestfulAPI で iRMC のユーザとパスワードを変更できません。iRMC WebUI または Redfish で、iRMC のユーザとパスワードを設定してください。

## 19. 【修正済】LAN カード/ポート拡張オプションの Link up/down の SNMP トラップについて

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

LAN カード/ポート拡張オプションで Link up/down が発生した際、iRMC から Link up や Link down の SNMP トラップが発行されません。

iRMC から LAN カード/ポート拡張オプションの Link up/down の状態を確認する場合は、iRMC WebUI の System -> Network の画面上で LAN の各ポートの Link Up/down の状態を確認してください。

## 20. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L)の PCIe-SSD 接続について

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L)は、PCIe-SSD 接続をサポートしていません。

PCIe-SSD を接続する際は、SAS アレイコントローラカード (PRAID EP680i、PCIeSSD 用) (PYBSR4C62L)をお使いください。

## 21. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)の SAS-SSD 接続について

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)は、SAS-SSD 接続をサポートしていません。

※ PRAID EP680i に SAS SSD を接続する際は、ファームウェアパッケージ版数: 52.15.0-4112 以上をお使いください。

## 22. SAS コントローラ(PY-SC3FB/PYBSC3FBL)の Windows 環境での使用について

SAS コントローラ(PY-SC3FB/PYBSC3FBL)を Windows Server2016/2019 の環境で使用される際には、下記のデバイスドライバをダウンロードして、デバイスドライバの適用後にご使用ください。

SAS Controller Tri-Mode Windows Driver: 2.61.29.00

本件は、RX2540 M6 のみの制限になります。

## 23. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)を搭載した環境で SVIM を使用した Windows のインストールについて

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)を搭載した環境で ServerView Install Manager(SVIM)を使用した Windows OS(2016/2019)のインストールを行うには、ServerView Install Manager(SVIM) V13.21.04.03 以降の版数をご使用ください。

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)の Windows 用ドライバは、以下のドライバをご使用ください。

【国内】

[https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/?from=pg\\_top\\_menu](https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/downloads/?from=pg_top_menu)

【海外】<https://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

上記のサイトからアレイコントローラ MegaRAID Trimode HBA Windows Driver(7.713.14.00)を入手してください。

## 24. Intel VMD コントローラのサポート OS について

Intel VMD コントローラは、VMware ESXi OS 環境ではご使用できません。

BIOS 設定の [Configuration] メニュー - [VMD Configuration] における “Enabled”設定 はご使用になりません。』

## **25. ポート拡張オプション(1000BASE-T x4: PY-LA274U/PYBLA274U)を使用した Wake On LAN 機能について**

ポート拡張オプション(1000BASE-T x4: PY-LA274U/PYBLA274U)を使用した Wake On LAN 機能は未サポートです。

## **26. EDSFF が 32 台以上の構成にて、SVRM の HTML5 GUI 上に表示について**

EDSFF が 32 台以上の構成にて、SVRM の HTML5 GUI 上の表示に時間がかかることがあります。  
iRMC WebUI 上で EDSFF の状態を確認してください。

## **27. ISM v2.7.0 を使用しての OS インストールまたは Offline ファームウェアアップデートについて**

Infrastructure Manager V2.7.0 を使用して、プロファイル適用(OS インストール)または Offline ファームウェアアップデートを実行する際、PXE ブートを行うポートに OCP カードを指定していると、PXE ブートが失敗します。

プロファイル適用(OS インストール)または Offline ファームウェアアップデートを実行する際には、PCIe のカードのポートを指定して実行してください。

## **28. 【修正済】iRMC の Network Adapters list に Onboard LAN として表示されるデバイスについて**

※ BIOS1.9.0 で修正されました。

iRMC の Network Adapters list に Onboard LAN としてユーザがご使用できない PCIe SW 内の port が表示されますが、このデバイスは外部にインターフェースを持たないため、LANとしてはご使用できません。

Manufacturer : LSI Logic Inc.

PCI Vendor ID: 1000

PCI Subsystem ID: 00B2

## **29. RX2540 M6 で ID card をサポートするモデルについて**

RX2540 M6 では、64x EDSFF SSD モデルのみが ID card をサポートし、他の 5 モデル(10x 3.5-inch HDD, 12x 3.5-inch HDD, 16x 2.5-inch HDD, 24x 2.5-inch HDD/NVMe SSD, 24x NVMe SSD)では、ID information label が貼られる仕様になっています。Upgrade and Maintenance Manual(UMM)には 64x EDSFF SSD モデルのみが ID card をサポートするという記載がないため、UMM に ID card がサポートされるモデルが追記されるまで制限事項として記載いたします。ID card と ID information label の記載内容について差異はありません。

### 30. 【修正済】RX2530 M6 のラック搭載時における Eventlog について

※ iRMC FW 3.34P で修正されました。

本サーバを電源切断の状態(AC ケーブルは接続した状態)では、サーバ前面の保守ランプが点灯し、以下のメッセージがシステムイベントログ(SEL)に記録される場合があります。

PSUx Inlet: Temperature high warning : 63 C

本サーバをラックに搭載してラック内の上下にもサーバが搭載されている場合に、発生しやすい傾向があります。

本事象が発生した場合、サーバの電源を投入後に前面の保守ランプが消える場合は、対処の必要はありません。

### 31. 【修正済】iRMC の SNMP Trap Community 設定について

※ iRMC FW 3.31P で修正されました。

iRMC の SNMP Trap Community 設定が iRMC の再起動により変更前の値に戻る場合があります。

SNMP Trap Community 設定が元に戻った場合には、iRMC WebUI から再度 SNMP Trap Community 設定を行ってください。

(iRMC WebUI の SNMP Trap Community の設定方法)

iRMC WebUI にログインし、「設定」→「サービス」→「SNMP」→「SNMP トラップ送信先」→「SNMP コミュニティ」に再度、値を設定してください。

### 32. 【修正済】特定のカードを搭載した場合のファンの動作について

※ iRMC3.37P で修正されました。

以下のカードが搭載された場合は負荷や環境温度に関わらずファンが高速回転になります。

<RX2530 M6>

以下のカードかつ 2 つ以上の PCI デバイスが搭載された場合はファンが高速回転になります。

カードの種類	型名
SAS コントローラカード	PYBSC3FBL、PY-SC3FB PYBSC3FBVL、PY-SC3FBV PYBSC3FBEL、PY-SC3FBE PYBSC3FBML
SAS アレイコントローラカード	PYBSR4C6L、PY-SR4C6 PYBSR4C62L

以下のカードを 1 枚でも搭載した場合はファンが高速回転になります。

カードの種類	型名
SAS コントローラカード	PYBSC3MA2L、PYBSC3MAVL



<RX2540 M6>

以下のカードを 1 枚でも搭載した場合はファンが高速回転になります。

カードの種類	型名
SAS コントローラカード	PYBSC3FBL、PY-SC3FB PYBSC3FBVL、PY-SC3FBV PYBSC3FBE、PY-SC3FBE PYBSC3FBEL、PYBSC3FB1L PYBSC3FBML、PYBSC3MA2L、 PYBSC3MAVL
SAS アレイコントローラカード	PYBSR4C6L、PY-SR4C6 PYBSR4C62L
ポート拡張オプション	PYBLA3F2U、PY-LA3F2U PYBLA3F2UN、PY-LA3F2UN
Dual port IB HCA カード (100Gbps)	PYBHC342、PY-HC342
Dual port IB HCA カード (200Gbps)	PYBHC402、PY-HC402

### 33. サーバ電源ユニットへの入力瞬断・瞬時電圧低下発生後のサーバ起動不可発生事象について

サーバ電源ユニットの入力の瞬断また瞬時電圧低下が発生した際に、サーバは継続して稼働しますが、その後サーバの電源オフ／オンにて起動不可となる事象が発生する場合があります。

本事象が発生した場合、iRMC WebUI から iRMC の再起動をお願いします。

その後可能なタイミングでサーバのACオフ／オンの実施をお願いします。

※ 本事象が発生したかどうかの確認方法について

瞬断や瞬時電圧低下の発生や起動不可の原因はログに記録は残りません。

iRMC 再起動(電源ケーブル抜き差しを含む)時に、過去の日付で"Power unit primary power lost"がログに記録されます。この記録が発生したか否かでのみ合致するかの判断が出来ます。

### 34. PRAID EP680e 搭載時の未認識問題について

RX2530 M6/RX2540 M6 + PRAID EP680e 搭載構成で、起動時に PRAID EP680e を認識できない場合があります。

<対象>

- ・RX2530 M6/RX2540 M6 の全型名
- ・BIOS 版数 R1.11.0 ~ R1.16.0
- ・SAS アレイコントローラカード (PRAID EP680e) PYBSR4C6E/ PYBSR4C6EL/ PY-SR4C6E

## 【留意事項】

RX2530/RX2540 の記載がない場合には、両装置に対する留意事項となります。

### 35. BIOS が自動で生成するデバイスの Boot Option の削除について

起動可能なデバイスのうち、BIOS が起動時に自動的に検出するデバイスは削除できません。BIOS が検出するデバイスは、HDD・SSD などのストレージや、PXE・iSCSI・HTTP などのネットワークが含まれます。

例 1: Windows がインストールされたストレージが存在する場合

ブート順位 1: 「例: Windows Boot Manager」⇒削除できます。

ブート順位 2: 「例: <ストレージの型番など>」⇒削除できません

また、以下のような構成の場合、BIOS がブート順位 2 のデバイスを POST 中に検出できなくなった場合、ブート順位 3 以降のデバイスからの起動を試みます。回避策として、起動させる必要のないデバイスが存在する場合、BIOS が起動可能デバイスとして検出させなくするために、以下の設定変更を実施してください。

例 2: Windows がインストールされたストレージと PXE Boot 可能なネットワークポートが存在する場合

ブート順位 1: 「例: Windows Boot Manager」

ブート順位 2: 「例: <ストレージ A (Windows インストール済み)>」

ブート順位 3: 「例: <IPv4 PXE ネットワークポートの MAC アドレス>」

設定変更内容:

SATA HDD/SSD の場合: 「SATA Configuration」メニューの「SATA Controller」を「Disabled」に設定してください。

M.2 SATA SSD の場合: 「SATA Configuration」メニューの「SSATA Controller」を「Disabled」に設定してください。

ネットワークの場合: 「UEFI Network Stack Configuration」メニューの「Network stack」を「Disabled」にしてください。

### 36. Dual Boot 設定について

1 つの Disk に複数の OS をインストールする Dual Boot 設定が出来ません。Dual Boot を行う場合には、2 つ以上の Disk を搭載してください。

### 37. 使用可能な DIMM の容量について

1CPU あたり DIMM を 6 枚もしくは 12 枚搭載している場合、使用可能なメモリ容量は搭載している DIMM の全容量より 1GB 少なくなります。

### 38. Power Cycle 中の意図しない iRMC の再起動について

本サーバのシステムイベントログ (SEL) を表示した際、下記メッセージが記録されている場合があります。

'\*\*\*\*'にはリスタートの理由を示す文字列が入ります。

Management Controller access degraded or unavailable caused by '\*\*\*\*'

上記の本サーバのシステムボードに標準搭載しているリモートマネジメントコントローラ (iRMC) のリスタート処理が行われたことを示すメッセージです。

サーバの動作には問題がありませんので、そのままご利用いただけます。

### 39. Video 出力を VGA カード側に設定時の HTML AVR 上でのマウス操作について

GPU カードを搭載し、iRMC WebUI から Video 出力を VGA カード側に設定しているにもかかわらず、HTML AVR 上でマウスが操作可能になります。上記の環境の場合には、操作可能でもマウスをご使用なさないでください。

### 40. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L) を搭載した環境で出力される Eventlog について

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)を搭載した環境で、Windows インストール後の再起動で Eventlog(EventID: 44801 warning error)が登録されます。

本 Event がログされるのは RAID ファームウェアの仕様ですので、本 Eventlog は無視してください。

### 41. RX2530 M6 10x NVMe モデル(PYR2536RAN)の SATA VRoC 構成について

RX2530 M6 ラックベースユニット (2.5 インチ HDD/SSD × 10) (PYR2536RAN)のオンボード SATA コントローラのソフトウェア RAID 機能を有効に設定した場合、2.5 インチドライブベイのベイ 8、ベイ 9 に SATA ドライブを接続することはできません。

本件は、RX2530 M6 のみの留意事項になります。

### 42. Linux OS での Intel VRoC 配下の SATA HDD/SSD の Hot Spare 機能について

Intel VROC (SATA RAID) for Linux の環境下において、RAID 管理ツールで作成した Dedicated Hotspare は、Linux OS の再起動を行うと機能しなくなります。待機ドライブとして Dedicated Hotspare を作成する運用は行わないでください。

### 43. Linux OS での Intel VRoC 配下の RAID10 における Reset to Degraded 機能について

Intel VROC (SATA RAID) for Linux の環境下において、Linux OS の使用中に発生した RAID10 の Volume の[Failed]状態に対して Reset to Degraded 機能は実行しないでください。

RAID Volume のデータが失われる可能性があります。

#### 44. Mellanox 製品搭載時の Infiniband/Ether カードの搭載制限について

PY-LA3E22U/PY-LA3L12/PY-LA3H22/PY-LA3E22/PY-HF301/PY-HC331/PY-HC332/PY-HC341/  
PY-HC342 および PY-LA412/PYBLA412/PYBLA412L/PY-LA3F2U/PYBLA3F2U/  
PY-LA412U/PYBLA412U を混在させることはできません。

#### 45. Mellanox(PY-HC401/PY-HC402)製品搭載時のケーブルの制限について

本装置に PY-HC401/PY-HC402 を搭載する場合、AOC ケーブルはご使用できません。

#### 46. 光モジュールのサポートについて

本装置では、光モジュールは未サポートです。

対象 LAN: PY-LA402/PYBLA402\*, PY-LA432/PYBLA432L, S26361-F4054-L502/S26361-F4054-E2\*,  
PY-LA412/PYBLA412L

対象ポート拡張オプション: PY-LA402U/PYBLA402U, PY-LA3F2U/PYBLA3F2U

#### 47. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L) 搭載時の HDD LED ケーブル接続方法について

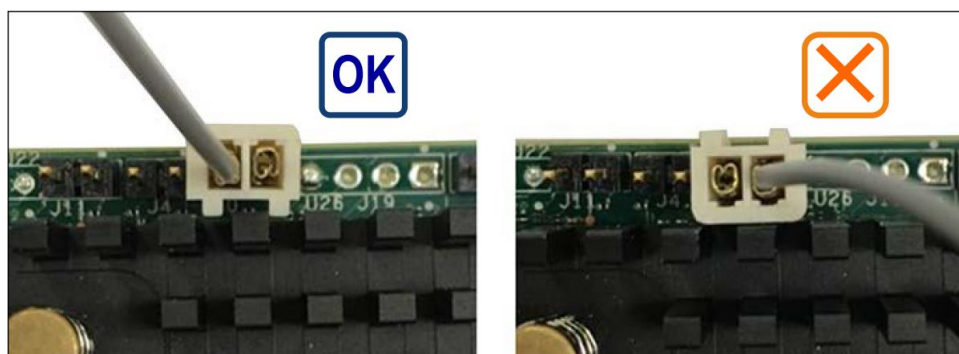
下記アップグレード&メンテナンスマニュアルに記載の、SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)搭載時の HDD LED ケーブル接続指示に誤りがあります。

RX2530 M6 用(2021/04 版)

RX2540 M6 用(2021/05 版)

誤った接続を行った場合、本 SAS アレイコントローラカードに接続した HDD/SSD のアクセス中も、サーバ本体フロントパネルの HDD/SSD アクセス表示ランプが点滅しない状態となります。

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP680i) (PY-SR4C6/PYBSR4C6L/PYBSR4C62L)への HDD LED ケーブルの接続は、下図のように行ってください。



#### 48. SAS アレイコントローラカード(PRAID EP580i) (PY-SR3C58/PYBSR3C58L /PYBSR3C59L)の Internal RAID riser モジュールへの搭載について

SAS アレイコントローラカード(PRAID EP580i) (PY-SR3C58/PYBSR3C58L/PYBSR3C59L)を Internal RAID riser モジュールに取り付ける際に、下記アップグレード&メンテナンスマニュアルに記載されているようにネジを 2 本使用して取り付けることができません。

RX2530 M6 用(2021/04 版)

RX2540 M6 用(2021/05 版)

下図のように、SAS アレイコントローラカードと Internal RAID riser のコネクタ側と反対側の左上部側(赤丸部)のみに添付のネジを使用して、SAS アレイコントローラカード(PRAID EP580i) (PY-SR3C58/PYBSR3C58L/PYBSR3C59L)を Internal RAID riser モジュールにネジ止めしてください。



#### 49. 消費電力が設定値を超えた場合の自動電源オフ機能について

消費電力が設定値を超えた場合にサーバを電源オフする機能がありますが、電源オフに設定時間以上に時間がかかることがあります。

※本動作は正常動作であり問題はありません。

#### 50. Intel VROC (VMD NVMe RAID)使用時の最大 NVMe ドライブ数について

Intel VROC (VMD NVMe RAID)は最大 48 台の NVMe ドライブの接続をサポートします。49 台以上の NVMe ドライブを接続する場合、Intel VROC (VMD NVMe RAID)はお使いになれません。サーバ本体の BIOS 設定より、VMDConfig を Disabled(工場出荷値)に設定してお使いください。

### 51. Intel 製 PCIe-SSD(P4511:PY-E140PE/PYBE140PE)の Windows 環境での使用について

Intel 製 PCIe-SSD(P4511: PY-E140PE/PYBE140PE)を Windows Server 2016 環境でご使用の場合は、VMD を enable に設定後、Windows Server 2016 をインストールしてください。

Windows Server 2019 Standard(16 コア) ダウングレードサービス付き Windows Server 2016 Standard インストールオプションの同時手配はできません。

### 52. RX2540 M6 搭載時における LTO ドライブの蓋が開く現象について

RX2540 M6 に LTO ドライブが搭載されている場合、装置前面から吸引する空気の圧力により LTO ドライブの蓋が開いてしまう場合がございます。こちらは仕様であり問題ございません。

### 53. Intel SST(Speed Select Technology)の使用について

Intel SST をサポートする CPU を搭載時に、Intel SST のご利用が可能です。

RX2530/RX2540 M6 では、Intel SST-PP(Performance Profile)、Intel SST-CP(Core Power)、Intel SST-BF(Base Frequency)、Intel SST-TF(Turbo Frequency)をサポートしています。

Intel SST を使用するには、Intel SST の種類に合わせて、BIOS のメニューより下記の設定を行ってください。設定の詳細については、「BIOS セットアップユーティリティ」を参照してください。

Intel SST 種類	BIOS メニュー名	設定値
Intel SST-PP	Dynamic SST-PP	Enabled
Intel SST-CP Intel SST-BF Intel SST-TF	Active Processor Cores	All
	Enhanced SpeedStep	Enabled
	Turbo Mode	Enabled
	Energy Performance	Performance
	HWPM Support	Native Mode または Native Mode with no legacy
	AVX ICCP pre-grant level	no override

Intel SST の各種の設定は、OS 上から行います。その設定については、下記のドキュメントを参照してください。

Intel の公開ページ:

「Intel® Speed Select Technology – Performance Profile (Intel® SST-PP) Overview」

<https://networkbuilders.intel.com/solutionslibrary/intel-speed-select-technology-performance-profile-intel-sst-pp-overview-user-guide>

「Intel® Speed Select Technology - Core Power(Intel® SST-CP) Overview」

<https://networkbuilders.intel.com/solutionslibrary/intel-speed-select-technology-core-power-intel-sst-cp-overview-technology-guide>

「Intel® Speed Select Technology – Turbo Frequency (Intel® SST-TF) Overview」

<https://networkbuilders.intel.com/solutionslibrary/intel-speed-select-technology-turbo-frequency-intel-sst-tf-overview-user-guide>

Linux の公開ページ:

「Intel(R) Speed Select Technology User Guide」

<https://www.kernel.org/doc/html/latest/admin-guide/pm/intel-speed-select.html>

## 54. RX2540 M6 の PCI Slot 番号の誤表示について

BIOS 版数が R1.16.0 版以前をご使用されている場合、iRMC や ISM にて PCI Slot 番号が間違っ表示される場合があります。

### ・発生条件と事象

No.	型名	事象
1	PYR2546R6N	OCF カードが PCI Slot#1 と表示される。
2	PYR2546RFN, PYR2546RGN (NVMe 搭載の構成)	PCI Slot#2 に搭載したカードが PCI Slot#1 と表示される。

### ・影響を受ける表示

iRMC: [System] → [Network]ページ内の”Location”の表示 (例: PCI Slot 1)

ISM: 搭載部品の名前 (例: LAN PCI Card\_1)

本件は R1.19.0 版以降の BIOS で、修正されています。R1.16.0 版以前の BIOS にて、ISM 上で誤って表示される PCI Slot 番号に対して、PXE ブートの設定や eIOV の設定を行っていた場合、R1.19.0 版以降の BIOS へ更新後に、再設定を行ってください。

## 55. インテル社のファームウェアに関する脆弱性(INTEL-SA-00828 / CVE-2022-40982)について

INTEL-SA-00828 / CVE-2022-40982 に対応した BIOS R1.23.0 版以降へアップデートし脆弱性対策を実施した場合、処理性能への影響を示唆する記事がインテル社より公開されております。その為、本脆弱性に対する対策を判断して頂く為の情報を以下に記載しておりますのでご参照ください。

重要なお知らせ : <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/note/page43.html>

－ 以上 －